施策分析シート(令和3年度)

No₁

産業経済部経営支援課 部課名 05-03 施策名 企業経営革新の支援 施策No 石﨑 455 関連部課名 産業経済部産業振興課 産業革新都市 行政評価 分野 事業体系 政策 05 活力ある地域経済づくり

区内企業が安定的な経営を行うため、必要な資金調達・施設整備、情報提供などを行うとともに、企業競争力・経営力の強化に向けた新製品・新技術開発や販路拡大を支援し、熟練技術者の技術が持続的に承継できるよう支援することで、区内産業の活性化を図る。

指標の推移

		1日1示り7日19								
	幸福実感指標名	30年度	元年度	2年度	指標に関する質問文					
	<mark>1</mark> まちの産業	2. 60	2. 60	1	荒川区の企業(お店や町工場など) は元気で活力があると感じますか?					
	2									
	3									
指	4									
	施策の成果とする指標名			指標の推	移		・ 指標に関する説明			
1 		30年度	元年度	2年度	3年度 見込み	目標値 (8年度)	拍标に関する武明			
標	1 融資実行件数(件)	885	881	1505	1000	900	2年度は、新型コロナウイルス対応の ため、大幅に増加。			
	② 日暮里経営セミナー参加者数 (人)	135	65	400	90	140	年間受講者数(工場見学会を含む) ※2年度は動画再生回数			
	3 新製品・技術の開発に対する取り組み意欲(製造業)(%)	_	_	-	47. 0	50. 0	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は令和3年度			
	知的財産に関する専門家への相談状況(製造業)(%)	_	_	-	34. 0	35. 0	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は令和3年度			
	5 新たな販路開拓に対する取り組み意欲(製造業)(%)	_	-	-	48. 0	50. 0	「平成29年度荒川区モノづくりセンサス」による。次回は令和3年度			

(単位:千円)

									<u>位:千円)</u>
		勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額
		給与関係費	63, 571	61, 812	▲ 1, 759		0	0	0
行		物件費	19, 099	24, 177	5, 078	_行 国庫支出金	0	0	0
政		維持補修費	0	0	0	都支出金	22, 610	35, 387	12, 777
		扶助費	0	0	0	が分担金及び負担金	0	0	0
ー ス	政	補助費等	303, 656	429, 443	125, 787	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	19	19	0	^ その他	8, 365	32, 328	23, 963
<u> </u>	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	30, 975	67, 715	36, 740
計		賞与・退職給与引当金繰入額	3, 007	3, 013	6	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 358, 377	450 , 749	▲ 92, 372
算		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
書		行政費用合計(b)	389, 352	518, 464	129, 112	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 358, 377	450 , 749	4 92, 372
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	208	208
		別収支差額(f)-(g)=(h)	0	208	208	当期収支差額(e)+(h)	▲ 358, 377	450 , 541	▲ 92, 164
		勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額
	動資産	収入未済	257	229	▲ 28	流動負債	2, 184	2, 354	170
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸	固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2, 184	2, 354	170
借		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
対		建物	0	0	0	固定負債	21, 143	17, 280	▲ 3, 863
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
照		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	21, 143	17, 280	▲ 3, 863
表		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	167	489	322	負債の部合計	23, 327	19, 634	▲ 3, 693
			0	0	0	正味財産	2 2, 903	18 , 916	3, 987
		建設仮勘定	V	U	•				
		建設収勘定 その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2 2, 903	18 , 916	3, 987 294

財務諸表に関する特徴的事項等

〇行政費用は補助費等が大きな割合を占め、そのうち、中小企業融資事業の利子補給等が約7割を占め、他は製造業 等経営力向上支援事業等経営力を強化するための補助金である。物件費は、企業経営・技術・情報等相談事業にお ける新型コロナウイルス感染症対策窓口の運営委託料が6割強を占める。給与関係費の減は、職員構成の変動や職員 の担当替によるものである。

〇行政収入は、地域産業活性化計画及び新型コロナ対策総合相談窓口に対する都補助金が5割以上を占め、その他は中小企業融資事業における繰上償還に伴う信用保証料補助金の返還分が5割弱を占める。

施策の現状・課題・今後の方向性

〇平成29年度に実施した「荒川区モノづくりセンサス」によると、強化すべき区の施策として販路開拓支援、資金の調達支援、従業員確保・育成支援、製品開発支援が求められている。また、新製品・新技術の開発に取り組む意欲については、「積極的である」、「必要に応じて取り組む」という回答が約4割を占めるものの、大学・研究機関を活用している企業は5%程度である。

〇区内企業経営者の高齢化は進行しており、60歳代以上の経営者が約7割となる一方、事業承継済み・承継予定とした企業は約29%にとどまり、事業を廃止・清算予定としている企業も29%を占める状況となっている。

〇新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少やニーズの変化等区内企業を取り巻く経営環境が厳しくなっている。加えて、SDGsやデジタル化という新しい潮流に対応することが、BtoB、BtoCの別にかかわらず、ビジネスの世界でも求められている。

○企業経営者が経営基盤を安定化できるよう、将来を見据え、事業に必要な資金調達、施設の整備 や、経営に関する知識やノウハウを修得できるような支援の必要がある。

〇区内企業の人材不足を補い、収益力を向上させるため、企業競争力・経営力を強化していくとと もに生産性を向上させる設備への投資を促進し、新製品・新技術の開発や販路拡大などを支援して いく必要がある。

○若者のモノづくりに対する関心の低下もあり、熟練技術者の高度な技術・技能を受け継ぐ後継者 が不足していることから、優れた技術・技能を円滑に承継していくため、事業承継支援の強化を図 る必要がある。

〇新型コロナウイルスの感染拡大により生じた新たなニーズを取り込む事業戦略の推進などポスト コロナに対応した企業努力やSDGs、デジタルを活用した事業活動への支援が必要である。

〇区内企業を取り巻く経済状況を踏まえ、企業経営及び生産性向上のための設備投資に必要な資金 の調達支援に取り組むとともに、国、都及び関係機関等と連携し、多面的な支援を行う。

〇経営に必要な知識や市場動向等に関する情報を提供するとともに、相談体制を整備することにより、区内企業の経営課題の解決力向上及び経営人材の育成を図る。

今 〇区内企業の大規模展示会への共同出展や知的財産戦略支援に取り組むとともに、他自治体との広 域連携により、地域の強みやアイデアを生かした新製品・新技術の開発や販路拡大を図る。

〇技術・技能を円滑に次世代へ承継していくため、国、都及び関係機関等と連携し、強化月間を設けるなど事業承継に対する早期の取組みを促し、多様な事業承継支援の強化を図る。また「モノづくりの街あらかわ」をより丁寧に区民にPRし、後継者の確保や技術・技能の承継に関する事業の充実を図る。

〇新型コロナウイルス対応の他、女性・シニア等多様性活躍やRPA・AI等のデジタル化のための設備投資補助など、ポストコロナやSDGsなど社会構造の変革に対応した区内企業の前向きなチャレンジを支援する。

施策(の分類							
3年度	4年度	万類にプいての説明・息兄寺						
重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争や新型コロナ禍を勝ち抜くには、経営基盤の安定だけでなく、新事業展開など絶えず新たな挑戦が必要であり、その取組を支援することは、区内産業の活性化には極めて重要であるため、重点的に推進する。						

課題

മ

方

施策を構成する事務事業の分類								
	事務事業	行政費用(千円)		決算額(千円)		施策推進のため の分類		
事務事業名	No	元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	分類についての説明・意見等
老舗事業所功労表彰事業	06-01-43	2, 498	0	1, 513	-	休止· 完了	休止・ 完了	事業承継の模範事例となるため、本事業を継続していく必要がある。なお、本事業は4年に1回の実施事業であり、令和2~4年度の間は休止とする。
中小企業融資事業	06-02-08	239, 580	329, 260	226, 287	314, 536	重点的に推進	重点的 に推進	区内中小企業者が金融機 関の融資を利用する際、区 が利子の一部や信用保証料 の全額又は一部を補助する 制度は、借受に伴う負担を 軽減し、事業経営の安定と 経営基盤の強化を図るため 重点的に推進する。
中小企業融資原資預託	06-02-09	6, 647	6, 031	1, 000, 000	1, 000, 000	継続	継続	区内中小企業の事業資金 調達の円滑化や経営の安定 化を図る観点から、預託を 継続的に実施する。
企業経営・技術・情報等 相談事業	06-02-11	12, 040	32, 920	11, 565	32, 173	推進	推進	企業相談員の区内企業へ の巡回相談や情報提供は、 区内企業の経営課題の解 決、経営基盤の強化の一助 となるとともに、区内産業 の活性化に資する事業であ るため、推進する。
中小企業倒産防止共済等 加入助成事業	06-02-12	4, 697	4, 602	3, 748	3, 309	推進	推進	下請構造が強い区内企業 の経営基盤を強化する事業 であるため、推進する。
工場建替促進事業	06-02-13	0	431	0	0	継続	継続	区内の工場定着のために 必要であるため、継続して 実施する。
あらかわ経営塾	06-02-14	4, 829	2, 184	1, 506	891	重点的に推進	重点的 に推進	区内企業の経営革新に向向けた計画を発生を通じて、区内企業の経営革新にで、区内企業の経営基盤ので、区内企業界を担う人材の育成、人脈の事要である。 ままらい、重点的に推進する。
日暮里経営セミナー事業	06-02-15	2, 631	1, 370	257	77	推進	推進	企業経営に必要となる各種情報をタイムリーに提供し、かつ、区内企業にとっ近の専門支援機関を身近なものとする契機となる事業であるため、推進する。
高度特定分野専門家派遣 事業	06-02-16	4, 092	4, 442	2, 668	2, 461	推進	推進	専門知識を有する専門家 の迅速かつ継続的な派遣支 援は、区内産業の発展に必 要な事業であるため、推進 する。
経営革新等支援事業	06-02-17	33, 402	14, 279	29, 129	12, 125	重点的に推進	重点的 に推進	当該補助事業を通じて、 区内企業の経営基盤の強化 と経営革新が図られること が期待され、区内産業活性 化を目指すためには極めて 重要であるため、重点的に 推進する。

施策を構成する事務事業の分類									
******* *	事務事業 No	行政費用(千円)		決算額(千円)		施策推進のため の分類			
事務事業名		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	分類についての説明・意見等	
企業情報化支援事業	06-02-20	2, 904	4, 148	1, 480	1, 304	推進	推進	ICTによる商取引が急速に進む現代社会において、ICTを活用した生産管理・販売促進等に関する知識やノウハウ等を提供することは、区内中小事業者にとって必要不可欠であるため、推進する。	
荒川マイスター表彰事業	06-02-23	2, 433	2, 021	532	297	推進	推進	高度な技術・技能を有する職人のモチベーション及び技術・技能の向上、承継を図るもあらが、「モノづくりの街あらかか」のPRや区内産業の活性化に資する事業であるため、推進する。	
次世代へのバトンタッチ (事業承継・終了)支援 事業	06-02-24	5, 731	6, 244	3, 831	4, 521	重点的 に推進	重点的 に推進	創業期から事業承継及び 事業終了期まで一貫して、 相談対応から各種の補助事 業等までのには、区内企業 でことは、区内企業の 新陳代謝を図り、産業の 性化につながるため、重点 的に推進する。	
生産性向上指導員派遣事 業	06-02-25	2, 045	2, 666	621	512	推進	休止・ 完了	企業の現場改善による生産性内上の推進を後押しすることを目的に事業を実施してきたが、他の事業で支援が可能であることから、令和3年度で事業完了とする。	
荒川区製造業等経営力向 上支援事業	06-02-26	44, 058	85, 871	38, 834	81, 993	推進	推進	当該事業を通じて、区内 産業を支えてきた中小企業 の経営力の強化が図られる ことが期待されるため、推 進する。	
販路開拓支援事業	06-02-27	21, 293	12, 775	15, 102	8, 582	重点的に推進		BtoBの「機械要素技術展 共同出展」とBtoCの「地域 ブランディング推進」の両 輪支援により、「モノづく りの街あらかわ」のブラン ド価値向上を図り、販路開 拓の促進につなげるため、 重点的に推進する。	
モノづくり企業地域共生 推進事業	06-02-31	475	9, 223	_	7, 500	推進	推進	中小企業の持続的な成長には、工場と近隣住民の調和を図ることが重要であるため、推進する。	
合 計		389, 355	518, 467	1, 337, 073	1, 470, 281				